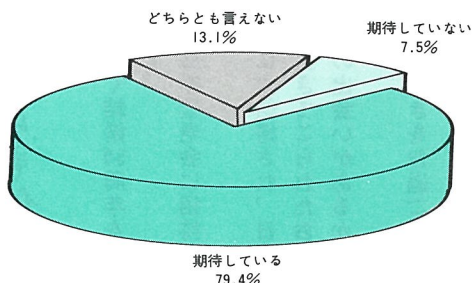


8割の人が町の保健事業に期待

《今後、町が行う保健事業に対する期待》



男性は60歳を、女性は50歳を境にして、保健事業への期待の割合が高くなります。全体で「保健事業に期待している」とする者が約8割(79.4%)に達しています。

《性別・年齢階層別の保健事業への期待》

男 性	保健事業に期待している		女 性	保健事業に期待している	
	人	%		人	%
全 体	3,542	79.4	全 体	3,542	79.4
男性20～24歳	105	54.3	女性20～24歳	105	60.0
25～29歳	87	62.1	25～29歳	108	68.5
30～34歳	128	69.5	30～34歳	108	76.9
35～39歳	138	75.4	35～39歳	148	81.1
40～44歳	143	76.2	40～44歳	156	84.0
45～49歳	221	74.2	45～49歳	194	81.4
50～54歳	121	82.6	50～54歳	129	85.3
55～59歳	118	80.5	55～59歳	136	86.0
60～64歳	176	86.9	60～64歳	197	90.4
65～69歳	168	86.3	65～69歳	189	83.6
70～74歳	125	87.2	70～74歳	177	86.4
75～79歳	87	85.1	75～79歳	85	77.6
80歳以上	74	85.1	80歳以上	119	72.3

- 健康についての意識を伺う保健ニーズ調査の概要は次のとおりです。
- ① 町民の意識や生活習慣、事業の利用状況は、性別・年齢階層によって大きな差があります。
 - ② 町民全体の約7割が、自分のことを健康だと自覚しています。
 - ③ 町民全体の約8割が、町の保健事業に期待しています。
 - ④ 男女とも20代を中心とした若い世代の生活習慣に問題があるように見受けられます。
 - ⑤ 全般的に健(検)診事業が町民によく知られ、また利用されています。
- 町では今回の調査結果をもとに、今後の保健事業を進めていく上での、住民主体の健康づくりに役立てていきます。

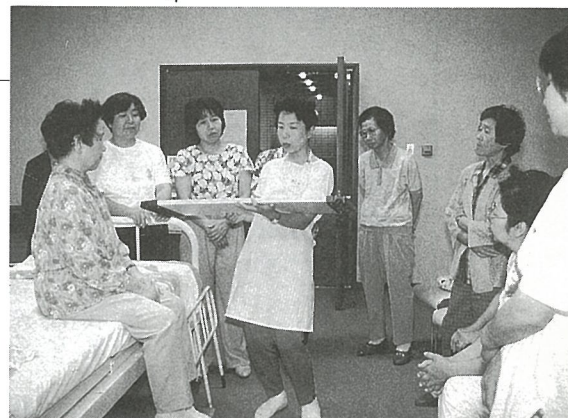


パパ・ママの子育てを応援

新しく今年から始まったパパ・ママ教室と子育て教室、核家族化、女性の社会進出等でパパの協力はより大切です。講話や実習を取り入れ、パパ・ママ同士が交流を図りながら安心して育児がおこなえます。

家庭介護教室に参加して

鈴木喜久子さん
(新井)



今現在、祖父が入院中です。祖母に介護をまかせきりで、たまに病院に行ってもどうすればよいのかわからずにいました。家庭介護教室に参加して介護の仕方を教えていただき、体を横向きに変えたり、少しの時間でも足を屈伸させようとか腕を曲げるよう手助けしようとか思うようになりました。